

第5回 SL復元検討委員会 会議要旨

1. 開会

2. 会長あいさつ

- ・皆様お越しいただきありがとうございます。
- ・SL 運行に向け、先日大井川鐵道を視察した。大井川鐵道を見て思ったのは、大井川鐵道は生活路線としての機能はほとんどないが、明知鐵道はそうではない。どう両立させていくかが課題である。
- ・委員会の間に、事務局の方で部会を開催して議論をしてきた。
- ・SL 復元検討部会では、売上を増やすために何とか 85 百万円に増やす方策を考えた。そのほか、観光特産品部会では乗客一人あたり 2 万円を稼ぐ方法を考えた。また、環境整備部会では、明知鐵道が通っていない飯地・中野方などにも波及させる方法を考えた。
- ・さらに、事務局の方で運営組織の在り方のたたき台を考えたので、こちらを議論したい。

○恵那東中学校長（会長の指名による出席）

- ・恵那市の子供たちに蒸気機関車の夢を作っていきたい。

3. 報告事項

- （1）前回までの振り返り及び各部会の開催状況
 - （2）SL 復元を通じた地域活性化計画の中間報告
- <事務局説明>

○中部運輸局鉄道部監理課

- ・資料 1 の 10 ページの収支想定について、3 点気になる。
 - ・人件費は明知鐵道のことだと思うが、これは明知鐵道の中の人を増やすのか？ 外部委託か？
 - ・維持管理費は、何かに基づいて計算したものか？ 事例を参考にしたのか？
 - ・修繕引当金とあるが、4 年目は収入にあるが、1～3・5 年目では支出にある。これはどういうものか？

○事務局

- ・明知鐵道に運行委託するイメージであるため、委託先の明知鐵道で人を確保してもらう形だ。
- ・維持管理費は他社を参考にしている。ただ大きな修繕は含まれていない。
- ・修繕引当金は、利益の中で貯めておく形だ。4 年目にはその貯めたお金を吐き出す形である。

○東海汽缶

- ・資料がずいぶん具体的になった。
- ・私は技術的な事しか話ができないが、資料 2 の 3 ページについて、検修庫では井戸水が出るかどうかが大事になる。水道水を使うと莫大な金額になるため、井戸水は不可欠だ。

○事務局

- ・調査はしていないが、基本的には岩村で進めたい。

○市民代表

- ・資料 1 の 11 ページ、「ハンデを持った方が楽しめる」とあるが、岩村駅は車いすの方は不便である。駅の改装については想定しているのか。

○事務局

- ・バリアフリーは大事な視点として認識している。

○明知鉄道

- ・岩村駅は相対式ホームである。現在、スロープの設置を考えているため、監督官庁と検討を進めていきたい。これは SL と関係なく考えている。

○中部運輸局鉄道部

- ・プラットフォームのスロープ化は、全国の鉄道会社で実施されている。具体的な案が出てきたら助言したい。

○ソフトバンク

- ・10 ページの支出について、6 年経っても人件費が変わらないのは気になる。
- ・モデルコースについて、どういった方を想定したのか。首都圏家族はなぜ単価が変わるのかなど。

○事務局

- ・支出についてはフラットで想定しているので、今後精度を高めたい。
- ・単価の違いについて、遠くから来る人の方がお金を使って頂けるだろうということで、首都圏の方を高くしてある。

○明知鉄道

- ・数値について精緻化をして頂いた。
- ・資料 2 の 2 ページについて、復元の目的はこの会議の中で共有されていると思う。今後は地域の皆さんに理解をして頂かないといけない。明知鉄道は生活路線であることも含めて積極的に発信してもらいたい。

○事務局

- ・その通りであり、生活路線であることは維持する必要があると思う。それを踏まえて観光資源の開発の意味を市民に理解頂きたいと考えている。

○岐阜県恵那県事務所長

- ・復元の目的について、新車両というものではなく、恵那市にしかない付加価値を作るといのが出発点ではないかと思う。人口減少時代にいかに人を集めるか。観光の目玉を

どう活かしていくか。

4. 協議事項

(1) 運営体制について

<事務局説明>

○明知鉄道連絡協議会

- ・利益や赤字はどうなるのか？

○事務局

- ・基本的には、推進組織がお金を集めて推進組織の責任の下で運営していくことになる。

○連絡協議会

- ・新たに団体を作るという事か？

○事務局

- ・こういった法人の在り方が良いかなどはまだ詰められていないが、責任を明確にしたいと考えている。

○中部運輸局鉄道部監理課

- ・明知鉄道に影響のないように責任の所在を分けるのは良い事だ。
- ・ふるさと納税やクラウドファンディングの割合も高いため、工夫の余地はある。

○事務局

- ・皆様にご理解いただきながら進めていきたい。

○恵那東中学校

- ・いろんなイベントを計画する際、観光団体・市民からはお金を出すという形になっている。

○岐阜運輸支局

- ・ターゲットの中で、首都圏の人の方が財布が緩む、中京圏の方が硬い、というのは理解できるが、外国人の単価が強気な気がする。この値に見合った地域の頑張りが必要だろう。

○岐阜県恵那県事務所

- ・観光を皆で作っていくという気持ちは理解した。

○恵那市議会

- ・私は予算を管理する立場であり、予算を審議する立場だ。1・2年は良いが、毎度毎度赤字となると市民の同意が得られるかという問題がある。多少の赤字だとしても波及効果があるかだとか、この辺りを説明できると良いだろう。
- ・収入の一部でふるさと納税等を想定しているが、もう少し深い議論をする必要がある。

○事務局

- ・中長期的な視点で計画を作っていきたい。

○県議会議長

- ・議会の立場からすると、その通りだ。
- ・沿線人口は圧倒的に少なくなり、子供の数も今後どのくらいになるか分かっている。利用者は当然減る。そうなるとわざわざ乗りに来てもらうということが大命題である。
- ・最もいけないのは、何もしない事だ。市民の同意を得てやらしてもらえればありがたい。
- ・明知鉄道は路線距離が短いので、年間２億の支出で済んでいる。それが SL により年間１億５千万増える。そこを稼ぎ出すための観光が作れないと、明知鉄道の存続にかかわる。

○会長

- ・この案はラフなものであるが、この原案をたたき台として進めて良いかというのを採決したい。

<賛成多数で可決>

5. その他

(1) SL 復元に向けた市民説明会について

○明知鉄道連絡協議会長

- ・説明だけなのか、市民からの意見は聞くのか？

○事務局

- ・説明の後で意見を聞く時間を設ける予定だ。
- ・次回は１１月２１日（木）１０時とする。